



令和7年



としょかん

図書館だより



あさひしょうがっこうとしょかん
旭小学校図書館

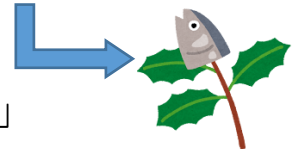
かんちょう さいじょう
館長 西條かおり

ししょ いでともこ
司書 井出知子

ことしは がつふつか が せつぶん です。「節分」とは、季節の移り変わる 境目 で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさしましたが、現在では、特に立春の前日だけを節分といいます。

むかし ひと びょうき わる おに いて お はら まめ たりしました。また、豆を自分の年より一つ多く食べると病気をしないと

い 言われています。さあ、みんなで一緒に「鬼は外～！福は内～！」



出典：『こども きせつのぎょうじ絵じてん』『絵でわかる社会科事典 年中行事・祭り』

今月の図書館だよりでは、「節分」や「鬼」にまつわる本を紹介したいと思います。

3冊目の『すみ鬼にげた』は、奈良市にある国宝・唐招提寺の金堂の四隅にいる木彫りの邪鬼がモデルだそうです。作者の岩城範枝さんは、唐招提寺をお参りする時は是非、双眼鏡を持って、金堂の軒裏を見上げてみてくださいとおっしゃっています。



『おばけ×行事えほん せつぶんのおに』 常光徹・文 株式会社童心社

器量よしで、はたらき者のふくが婿をとることになった。山奥の鬼がこれを聞きつけてやってきて、ふくを山へ連れて行ってしまった。となりの兄さんが、鬼の好物の酒を持って、ふくを助けに山へ向い・・・。

TRC 図書館流通センター



『2月のおはなし 鬼まつりの夜』 富安洋子・作 株式会社講談社

節分の夜、よび声に引きよせられたケイタは「鬼ごっこ」をするはめに。その相手は赤いはだかんぼの体にトラ皮のパンツ丁、さらに頭にはりっぱなつのがはえていて・・・。

TRC 図書館流通センター



『すみ鬼にげた』 岩城範枝・作 株式会社福音館書店

大工見習の少年ヤスは、奈良の唐招提寺で仕事を手伝っていた。ある時、誰かが泣いているような声を聞いたヤスが、その声のする屋根の方へのぼってみると、そこには一尺（約30cm）ばかりの小さな鬼が座っていて・・・。

TRC 図書館流通センター

つぎ ころ
次のひまわり号は3月7日（金）です！

